

2月26日：VN 指数は 1,300pt 付近で停滞 (VN-Index -0.11%)

- 長らく抵抗線として意識されていた 1,300 ポイントを突破したことで更なる上昇が見込まれ、本日の VN 指数は上昇して開始した。
- しかし、強い買いの動きは長続きしなかった。寄り付き後はすぐに上昇圧力を失い、前日終値付近まで落ち込む展開となった。
- 投資家心理の更なる改善は見られなかったものの、1,300 ポイントが新たな支持線として指数の更なる下落を抑えた。
- 情報技術、小売セクターが市場全体を下支えした。
- 198 銘柄が上昇、259 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は再び減少し、14.3%減の 16.6 兆ドンとなった。

VN30 指数は横ばい (VN-30 0.00%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇、18 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- STB (-1.78%)、SSB (-1.53%)が最も大きな下落を見せた。
- 一方、FPT (+2.01%)の上昇により指数の下落が抑えられた。GVR (+1.56%)、BVH (+1.05%)も堅調だった。

セクター・個別株の動き

- GEX (0.00%)の子会社である Gelex Infrastructure は新たに発行された 9,340 億ドン相当 PXL (+1.95%) 株を買付け、同社の持ち分を 25.52%から 65%に増加させた。これにより正式に同社の親会社となった。
- DBD (+1.20%)はカナダのバイオ企業である Gene Bio Medical と高品質の診断キットの開発に関する覚書を締結した。開発投資についてはビンディン省に 1,000~2,000 万ドル相当の投資を行うことを提案した。
- 外国人投資家は 2,871 億ドンの売り越しとなった。MWG (+0.69%)が買われた一方で、STB (-1.78%)、CTG (-1.19%)には最も売りが集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。